

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立富士北麓駐車場	所管課	観光文化部 世界遺産富士山課
所在地	富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84	設置年月日 (改築年月日等)	平成23年7月1日
管理方式	フジネット共同事業体		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立富士北麓駐車場設置及び管理条例		
設置目的	富士山を来訪する観光客の利便の増進を図るとともに、富士北麓地域の観光の振興に資するため。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 88,710㎡(駐車場等 44,280㎡) ・駐車場面積 33,725㎡ 第1駐車場 15,930㎡、第2駐車場 8,935㎡ 第3駐車場 6,190㎡、第4駐車場 2,670㎡ ・観光案内所・トイレ面積 198㎡ ・バス乗降場、通路、浸透池等の面積 10,357㎡		
主な業務内容	(1) 施設及び設備器具の維持保全業務 駐車場施設及び設備器具の維持保全業務を行う。 (2) 富士北麓地域の観光案内業務 富士登山をはじめ、富士北麓地域を中心とした観光案内業務を行う。 (3) 富士スバルラインマイカー規制期間中の駐車場の運営管理業務 富士スバルラインマイカー規制期間中の臨時駐車場としての料金徴収等の運営管理業務を行う。		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県富士北麓公園
------------------------------	-----------

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	駐車台数	34,901	31,449	3,731	
	利用者数合計	34,901	31,449	3,731	
	目標値	27,920	27,636	29,017	33,021
	目標値設定の考え方及びその理由	過去の実績及びマイカー規制日数から積算(収入予算)			
	対平成30年度比		90.1%	10.7%	
利用率		47.6%	42.8%	5.4%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	32,501,000	32,373,000	25,357,546	26,970,000
	その他	801,212	1,160,000	155,997	2,200,000
収入合計(A)		33,302,212	33,533,000	25,513,543	29,170,000
支出	人件費	7,633,745	7,533,000	5,393,284	5,773,000
	県への納付金				
	管理運営費	24,723,983	25,876,000	18,404,792	24,079,000
	うち外部委託費(B)	21,120,180	21,608,000	15,901,847	19,015,000
支出合計(C)		32,357,728	33,409,000	23,798,076	29,852,000
収支差額(A-C)		944,484	124,000	1,715,467	△ 682,000
外部委託比率(B÷C)		65.3%	64.7%	66.8%	63.7%
利用者一人当たりの経費		1,033.5	1,115.7	6,796.4	816.7

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年4月～令和2年11月 (4月21日～5月31日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため登下山道を臨時閉鎖しており、同期間のアンケート実施はなし。) 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:150人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備の充実	71.6%	27.8%	0.6%	
施設設備の整備状況	81.8%	18.2%		
スタッフの対応	90.0%	10.0%		
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	1.パンフレットが充実していて情報量が多くて良い。 2.トイレや案内所がとても綺麗で清潔だった。 3.売店があればよい。 4.飲食店があればよかった。 5.駐車場料金とバス代を合わせると値段が高い。 6.駐車場入場金額にバス料金も含まれていると思った。 7.バスの本数が少なすぎる。 8.規制後もバスが停車してほしい。 9.タクシー勧誘がしつこすぎる。
利用者の意見への対応	1.今後も引き続き充実させて行く。 2.今後も継続して施設美化に努めて行く。 3.観光案内所での物品販売を自主事業として実施予定だったが、登山道閉鎖のため、登山客も見込めないことから実施しなかった。 4.今後の検討課題とする。 5.観光案内所での物品販売を自主事業として検討している。 6.今後の検討課題とする。 7.登山道閉鎖のため、今年は便数が少ない旨を説明した。 8.今後の検討課題とする。 9.直接タクシー運転手にその旨を伝えた。

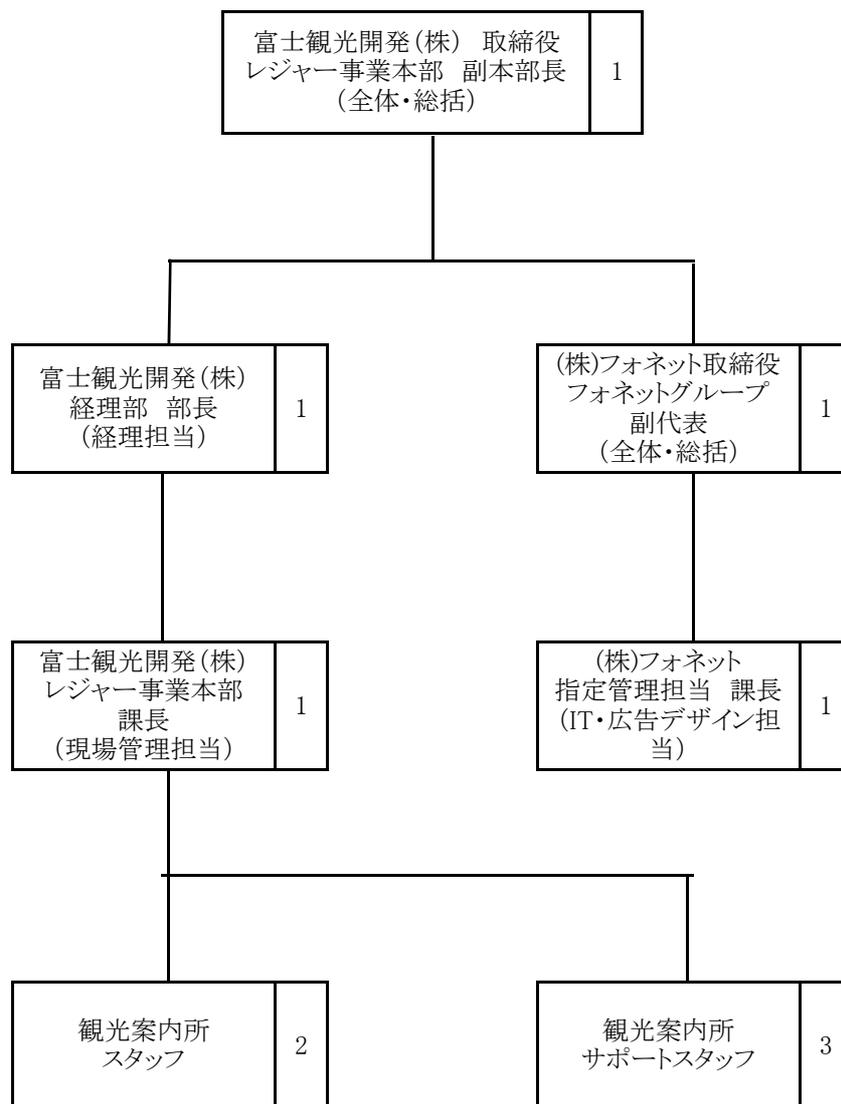
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>年間作業実施計画に基づき適切に維持管理業務を行った。芝生の維持管理については当社グループの専門部門に再委託し、施肥、消毒など芝の適切な管理を行った。</p> <p>また、除草作業についても当社グループ内で実施したため、通常より多く作業を進め、適切な管理を行った。</p>	<p>法定点検業務等施設の維持管理業務が、事業計画に基づき適切に実施されている。</p> <p>第三駐車場(芝生広場)については、施肥、消毒等により適切に保護・管理されている。</p>
運営業務	<p>4月21日～5月31日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉鎖したが、再開後は感染対策に気を付けながら業務計画書に基づき、予定通りの運営を行い、適正に業務を執行した。</p>	<p>臨時閉鎖後には新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で運営を再開した。</p> <p>富士スバルラインマイカー規制期間中の運営を含めて、適切な運営が行われた。</p>
利用状況	<p>富士北麓駐車場ホームページ、Twitter、ならびにInstagramを継続的に更新し、富士北麓駐車場のPRを図りましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため来場者数は激減し、令和2年のマイカー規制期間で徴収した駐車料金額は3,731,000円となり、令和元年の31,449,000円と比較すると、88.14%減の11.86%にとどまった。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、富士山を開山しなかったことが来場者数に大きく影響し、駐車料金の徴収額も大幅減となった。</p>
収支状況	<p>コロナの影響で利用者が激減したことにより収入は減ったが、マイカー規制期間中の時間短縮などにより、使途見込みの予算の支出がなかった。また、委託料も変更し、減額した。さらに、現設備管理や当社グループのスケールメリットを活かし、芝生管理や除草作業、その他修繕等の経費コストの圧縮に繋げた。</p>	<p>グループのスケールメリットの活用や、委託業務の見直しなどにより、経費削減に努めた。</p>
自主事業	<p>7月29日(水)マイカー規制期間中を含む利用客の荷物保管場所として、コインロッカー(2列×2段×3台=計12扉)を設置し、利便性を図るとともに、利用者満足度の向上につなげた。</p> <p>11月7日(土)フジネット共同事業体は富士吉田商工会議所青年部と共にドライブインシアターを自主事業として実施し、来場者を愉ませた。</p>	<p>利用者の利便性向上のための自主事業(コンロッカーの設置、ドライブインシアター等)を実施し、幅広い層の集客を図った。</p>
利用者満足度	<p>アンケート回答者からは、ほぼ100%の割合で施設全体として「満足」、または「どちらかと言えば満足」という結果を得られた。引き続き、利用客へのサービスや施設整備、清掃に力を入れていく所存である。</p>	<p>アンケート回答者のほぼ100%に満足感を与えるなど、観光案内所職員の対応は評価できる。</p> <p>利用者の利便性向上のため、アンケートに寄せられた要望に対応するなど、引き続き満足度の向上を図って欲しい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月21日～5月31日に臨時閉鎖となった。また、マイカー規制期間における営業時間の短縮並びに富士登山道が閉鎖されたことにより、来場者数は激減し、令和2年のマイカー規制期間で徴収した駐車料金額は3,731,000円となり、令和元年の31,449,000円と比較すると、88.14%減の11.86%にとどまった。</p> <p>7月29日(水)マイカー規制期間中を含む利用客の荷物保管場所として、コインロッカー(2列×2段×3台=計12扉)を設置し、利便性を図るとともに、利用者満足度の向上につなげた。</p> <p>11月7日(土)フジネット共同事業体は富士吉田商工会議所青年部と共にドライブインシアターを自主事業として実施し、約150台の来場客を集客し、成功裏に終了した。</p> <p>11月14日(土)・15日(日)にウルトラモーターフェスティバルを開催し、FMラジオ・ポスター・チラシ等に告知し、富士北麓駐車場を周知することができた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>業務仕様書等に基づき、的確に管理・運営を行っている。特に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月～5月にかけて臨時閉鎖となったことや、富士スバルラインのマイカー規制期間の営業時間短縮、富士登山道の閉鎖等の状況に臨機応変に対応した。</p> <p>来場者数の減少によりマイカー規制期間中の駐車料金額は令和元年度と比較して-88.14%の大幅減となったが、自主事業としてコインロッカーの配置やドライブインシアターを実施する等の取り組みを行っていることは評価できる。</p> <p>以前、芝生の損傷が指摘された第三駐車場については適切に保護・管理できている。</p> <p>令和3年度についても開山期間やマイカー規制期間は新型コロナの影響を受ける可能性が高いが、引き続き、富士北麓地域の観光振興に資する駐車場として活用されるよう積極的に取り組んで欲しい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>令和3年度についても開山期間及びマイカー規制期間の短縮が予想されることから、令和2年度後半から世界遺産富士山課と令和3年度の運営体制を調整してきている。</p> <p>第三駐車場は原則自動車等の乗り入れを禁止し、イベント等の際も使用状況を適宜確認するなど、適切に維持管理を行った。</p> <p>観光客の利便性向上のため、利用者の意見に基づいた自主事業を計画している。</p>

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



取締役 ・ レジャー事業本部 副本部長	1 人
副代表 ・ 経理部部長	2 人
課長	2 人
スタッフ (長期アルバイトスタッフ)	2 人
サポートスタッフ (短期アルバイトスタッフ)	3 人
合計	10 人